



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッツさん」

NETWORK

にしかわ

2023

令和5年

10月号

No.811

まちづくりテーマ・合言葉 キラリ☆月山 健康 元気にしかわ!

3つの町民運動 ①みんなが主役運動②まち自慢運動③現役延長運動

- 主な内容 -

P 2 | MOLDOVA CUP

P 6 | 令和5年度8月・9月補正予算

P 10 | 令和4年度決算報告



▲大会の最後は参加選手全員で記念撮影



◀ドゥミトル・ソコラン特命全権大使



▲5レーン宮田選手にチャレンジレース



▲短距離100mならではの激戦のレース

菅野町長も出場しました!

MOLDOVA CUP

Super Sprint 100m Championship



9月17日に月山湖カヌースプリント競技場でカヌー大会「MOLDOVA CUP」が開催され、県内外から参加した約160人が白熱したレースを繰り広げました。

西川町は、モルドバ共和国と2018年に東京2020オリンピックに向けたホストタウン協定を結び、交流事業の一つとして本大会を2019年から開催しています。今大会は、カヌースプリント競技では珍しい「100m」という超短距離をカヤック・カナディアン2種目で競い合いました。参加選手は小学生から一般の部に分かれレースを行い、力強いパドルさばきで艇を進めていました。在日モルドバ大使館のドゥミトル・ソコラン特命全権大使も会場にかけつけ声援を送りながら、大会を見守りました。

また、東京2020オリンピックに出場した宮田悠佑選手とのハンデ戦チャレンジレースや、町内事業所の出店、町職員ジョー先生の英語による司会などいつもとは違った雰囲気のある大会を、選手はもとより応援に訪れた来場者も楽しみました。



▲選手同士で喜びを分かち合った表彰式



菅野大志の

「いどばた会議」vol.16

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

西川町の総合計画では、8年後の生産年齢（15歳から65歳）人口の増加を掲げています。他の町の議員さんからは、「西川町ではあり得ない」「具体的に書かない方が現職でいられるぞ!」という声をいただきました。しかし、明確な方針を示し、現場で本気で取り組む姿を見せることがリーダーの役割。日本人は、自分のことばかり考える方が多い。利他の心を持てば、もっと日本はよくなる。選挙に勝つことを考えて、徐々に歩みを進めるようなことはしたくないし、西川町にそんな余裕はありません。リーダーの役割は、たくさんの人を巻き込んで取り組み、町民に明るい未来、ワクワクする未来を感じてもらうこと。山形新聞のやましんサロンのコーナーで、西川町が変わりつつあることをお寄せいただいた榊瑞希さんに、私は勇気をもらいました。そう感じてくれる人を増やしていきたい！この度は、ネットニュースのアクセスランキングで国内1位となった記事を掲載します。

【以下47NEWSより抜粋】

「このままでは手遅れになる」過疎地の限界は人口4千人、高齢化率45% 分析した官僚が故郷の町長になって7年ぶり人口増、何をした？

2021年12月、東京・霞が関にある内閣官房。ノンキャリアの公務員として勤務していた菅野大志さん（45）は、自分たちが担当した調査の結果に衝撃を受けた。

調査の目的は、地方創生の限界を探ること。明確な答えが出た。「人口4千人以下で、65歳以上が45%を超える自治体は、将来的な再生がきわめて困難になる」

菅野さんが驚いたのは、自分の出身地・山形県西川町が、まさにこの「限界」に限りなく近づいていたからだ。2020年時点で人口は5千人を切り、年間100人以上のペースで減少。高齢化率は既に45%に達していた。

「このままでは故郷は手遅れになる。何とかできないか」。悩んだ末、「自分が町長になる」と決断した。

選挙戦を制して2022年、町長に就任すると、長年温めていた施策を次々に繰り出す。この年は転出が転入を上回る「転出超過」を、比較可能な1960年以降で最小となる24人に縮小させた。総人口も今年5月に1人、9月に3人と、わずかながら前月比でプラスに転じた。2016年以来、7年ぶりの「人口増」だ。菅野さんは「まだまだ始まったばかり」。誰もが諦めかけていた過疎地に、一体何が起きているのか。

▽「あと10年が正念場」

2021年から内閣官房に入り、「まち・ひと・しごと創生本部」や、岸田文雄首相肝いりの「デジタル田園都市国家構想」の事務局に所属。政府交付金を受ける自治体の審査などを担当し、地方創生の成功例も失敗例も見てきた。そんな時、「地方創生の限界を調べてほしい」という調査を請け負った。

さまざまな自治体の事例や統計を調べた結果、こうなった。「人口4千人以下となり、うち65歳以上が45%を超えると、その自治体は生産年齢人口（15～64歳の人口）を増やすことがほぼ不可能になる」

自分たちが導いた答えにショックを受けた菅野さん。「このままでは故郷は手遅れになる。あと10年が生き残れるかどうかの正念場だ。人口減少打開に向けた対策を、今すぐやるしかない」

実は以前から、帰郷時に西川町役場の職員らと意見交換をしていた。ただ、町役場の腰は重い。「活性化のアイデアはあっても、実施するための補助金申請はしてこなかった。どうしたら事業化できるのか分からない様子で、挑戦する機運も乏しかった」

一方で、自分には地方創生や補助金行政の経験がある。「どうすれば…」そんな時、偶然にも地元の政党関係者から声を掛けられた。「町長選に出てみないか」

公務員という安定した職を失うため周囲は反対したが、思い切って出馬。選挙戦に勝ち、2022年4月、町長に就任した。



今月の大ニュース!

『インタビュー記事がYahoo!の ニュースアクセスランキングで1位に!』

ご登録をお願いします!



▲町公式LINE



▲オープンチャット

▽LINEを通じて1400人と交流

菅野さんが温めていた考えはこうだ。「一気に人口増加に転じさせるのは難しい。まずは西川町のファン、つまり『関係人口』を増やさなければならぬ」

関係人口とは、大都市など町の外に住みながら、観光や仕事などさまざまなきっかけで継続的に町と関わってくれる人のことだ。ふるさと納税をしてくれる人、観光のリピーターになってくれる人、仕事を通じて町と関わってくれる人…。

こうした人からニーズやアイデアを吸い上げ、町の知名度や魅力を高めることで、観光振興や財源確保、ひいては移住の増加につなげるという青写真を描いた。

それを実現するための手段がデジタルだ。狙いをこう解説する。

「財源や人手に乏しい中山間地の小規模自治体でも、町内から遠方の人まで幅広くコミュニケーションをとることができる。SNSのアカウントやメールアドレスとつながることで、相手の関心に沿った効果的な告知も可能になる」

中でも、利用者が多いLINEにまず目を向けた。「オープンチャット」と呼ばれる機能を利用すれば、町内外の誰でもチャットグループのメンバーになり、全員に向けたメッセージを送ることができる。メンバーから知人や出会った人をグループに誘ったり、町のSNSで参加を呼びかけたりして、メンバーを増やす狙いだ。

チャットで告知する内容は、観光PRから、町内外のイベントに参加した際の写真や感想まで多種多様。町外の人からもさまざまな投稿が寄せられる。町長となった菅野さんも頻りに投稿し、メンバーと直接、意思疎通をする。

メンバーは次第に増えていった。今年9月20日現在で1400人超となり、手応えを感じている。「町内外との活発なコミュニケーションができています。町在住の利用者も相当数いるため、町民ニーズの把握にも役立っている」

▽「デジタル住民票」をネット販売。13倍越の抽選に

今年4月には、新たにユニークな取り組みを始めた。「デジタル住民票」だ。町の事業だが、公的な住民票ではなく「西川ファンの証し」という位置づけ。価格は千円で、町内外の誰でもデジタル住民票となれる。町長とネット上の仮想空間「メタバース」上で意見交換できるほか、町外の「住民」は町の温泉が入浴無料になる。デジタル住民票の作成では企業と連携して「非代替性トークン（NFT）」と呼ばれる技術を使った。

NFTは、複製不能のデジタルデータを指す。近年は町おこしでの活用が広がっているが、菅野さんによると、自治体が公式に販売するのは全国初という。当初は1千個限定の抽選販売だったが、話題を呼び、販売開始から1分で発行数を超える申し込みがあり、最終的には1万3440人に上った。「町民の約3倍の人たちが関心を持ってくれたことになる」

9月には、町内の公園の命名権を付与するNFTアートのネットオークションも開催。すると、「想定以上」と町職員も驚く130万円で落札された。

▽人手不足はAIでカバー

町長の地方創生策はまだ終わらない。

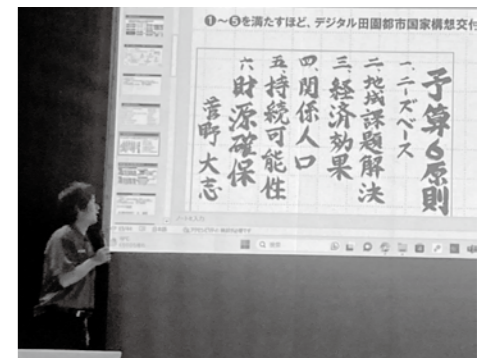
町の人手不足をAIでカバーする取り組みにも力を入れ、観光振興の一環として、4月から「AI謎解きゲーム」を実施している。地元の山岳信仰をモチーフにしたストーリーに従い、AIと対話しながら謎を解く内容だ。町内を周遊しながら魅力を体感してもらい、人手をかけずに西川ファンを増やす狙いがある。

町民生活向上のためのアプリも企業と開発している。AIが生活相談を受けたり、お年寄りの話し相手になったりすることができる。方言にも対応しようと、今年7月には地元の言葉をAIに教える町民らをオーディションで募集。40～80代の男女計5人が選ばれた。

アプリを搭載したタブレット端末は、2024年3月末までに町内の全戸に配布する予定だ。

◆第7次西川町総合計画・町政報告会

日時：10月20日（金）19:00～ 場所：交流センターあいべ
西川町のこれからと変容について本気でお話しします！ぜひご参加ください。



令和5年度8月・9月補正予算の概要

令 和5年度一般会計補正予算(8月・9月補正)が議会で承認されました。この度の補正予算では、第7次西川町総合計画の基本目標に掲げた「稼ぐ!」「支え合う!」事業を推進するとともに、「つながる!」事業では、町内の住宅需要の増加から町営住宅に関する予算を盛り込んでいます。

8月補正 2179万円 **9月補正 8293万円**

当初予算と合わせた予算規模 72億5300万円

1、「稼ぐ!」地域の資源とデジタルを融合させた魅力ある産業、仕事がある西川町をつくる

○町産業振興施設管理運営事業/413万円

地ビール工場の排水処理施設の修繕及び大井沢温泉湯ったり館の熱交換循環ポンプの修繕を実施します。



ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

企画財政課

○仁田山放牧場軽トラック購入事業/30万円



町内の畜産振興のため、仁田山放牧場及び入牧している牛の維持管理に必要不可欠な作業用軽トラックを購入します。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

みどり共創課

2、「つながる!」外に開かれ、みんなをつないでパートナーシップを大事にする西川町をつくる

○集落支援員 / 783万円



地域の課題解決やすっだいことを実現するため国の事業の集落支援員を希望がある区に配置していきます。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

つなぐ課

○観光施設管理整備事業 / 414万円



町の情報をリアルタイムでお知らせできるデジタルサイネージを新たに設置。観光看板も増設して町の魅力を届けます。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

商工観光課

○町営住宅等に要する経費/705万円



管理している町営住宅の床・壁紙張替修繕及び不具合のある給湯設備等の故障修繕を行って、「住みたい」声に応えます。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

建設水道課

○町営住宅整備事業(提案型住宅の設計)/496万円

家族のスタイルに合った生活で長く住んでいただけるよう、設計段階から住む方の思いを取り入れた戸建て町営住宅5戸を建築します。

募集宅地



ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

建設水道課

3、「支え合う!」町民だれもが安心して豊かな心で生活できる魅力的な西川町をつくる

○住民向け対話型AI「Chat GPT」導入事業/94万円



行政サービスの手続きや制度への問い合わせに24時間・365日対応する音声対話型AI「Chat GPT」を導入します。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

企画財政課

○消防団防寒衣購入事業 / 84万円



消防団員が冬期間出勤時に着用する装備として防寒衣を購入します。本事業は令和5年度消防団員安全装備品整備事業助成金を利用し実施します。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

総務課

○除雪関係全般に要する経費/400万円



町道及び公共施設駐車場の冬季除雪作業において使用する除雪機械(ドーザ・ロータリ)の不具合や故障箇所を修繕し、効率的な確実な除雪を行います。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

建設水道課

○予約できる公共DX事業/250万円



交流センターあいべ、町民体育館、町民グラウンドの予約がインターネットから可能になるシステムを導入します。

ニーズベース	課題解決	経済循環	関係人口	持続可能	財源確保
○	○	○	○	○	○

生涯学習課

第7次総合計画の実現に向けて
取り組んでいくよ!



まちづくりNews

スポーツを通じて「考える力」を育成 株)SPLYZAと連携協定を締結

町と株)SPLYZA(本社：静岡県浜松市、土井寛之代表取締役)は9月26日、アプリケーショ開発を通じたスポーツ教育支援を目的に包括連携協定を結びました。同社は、アマチュアスポーツ向け映像分析ツールを開発・販売しています。今後は、映像分析ソフトウェアを活用した学びの促進や最先端のスポーツDXによる地域活性化に関する取り組みを行うべく予定しています。



▲土井代表取締役と菅野町長

新たな関係人口創出に向けて よんなな会と派遣協定を締結

9月25日、町は一般社団法人よんなな会(東京都、島田龍男代表理事)と「地域活性化起業人制度」による派遣協定を締結しました。同法人は、全国の地方公務員と中央省庁の国家公務員をつなげ、官公庁主催のオンラインイベントや勉強会の運営を行っています。今後、同法人の島田代表理事を派遣社員とし、町の地域課題解決に向けたイノベーションの創出やよんなな会のネットワークを活かしたデジタル田園都市国家構想の実現に向けた全国自治体との連携を促進していく予定です。



▲島田代表理事と菅野町長

企業版ふるさと納税寄附企業に 感謝状贈呈 シー・スリー・アイ株式会社様



シー・スリー・アイ(株)(本社：東京都、宮澤正恭代表取締役)から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただき、菅野町長より代表取締役・宮澤正恭様に感謝状が贈られました。

▼寄附活用事業…産業複合施設整備プロジェクト

交通事故のない安全安心なまちづくりを 西川町交通・生活安全町民大会

9月16日、西川町交通・生活安全町民大会が交流センターあいでで開催され、約150名が参加しました。大会では、独立行政法人自動車事故対策機構仙台主管支所の伴野晋次長が、「事故をおこさないために気を付けること」心にも、ブレーキを「というテーマで講話。事故がどういった要因で発生するのか、人の認識力、見る力がどう弱いのかを再確認してもらい、安全運転を呼びかけました。アトラクションでは、西川スマイリークラブの皆さんが元気づけのダンスパフォーマンスを披露しました。最後は、大会宣言を町民丸と成って推進していくことを確認しました。



▲交通・生活安全町民大会

今年度も9地区から地域づくり活動補助金を活用いただいています!

対象事業

各地域の地域づくり計画を実現するために実施する事業、または地域の課題解決のために実施する事業など地域の実情にあわせて地域のすっだいことを実現するために活用いただいています。

地区名	地域づくり活動事業内容
睦合	”冬のつどい”睦合の冬を彩る2つの災
吉川	地域活性化先進地視察研修事業 歴史文化教室開催・看板設置 地域通信新聞発行事業
間沢	間沢地域づくり計画策定事業 歴史文化資料伝承事業
原・沼山	天狗山整備事業
網取	網取地域に眠る宝である石碑の再生事業
岩根沢	昔の街並み再生事業
入間	蛍の里づくり鑑賞コース整備事業
本道寺(志津含む)	映像資料デジタル保存上映事業
大井沢	寒河江川上流部の河川環境向上事業



▲網取地区



▼入間地区

ビール祭りに「月山ビール」初出店 仙台オクトーバーフェスト

9月8日〜24日に開催されたビール祭り「仙台オクトーバーフェスト」に「月山ビール」が出店しました。本場・ドイツの「オクトーバーフェスト」と同じく毎年秋に開催し、ドイツビールや東北各地のビールを、料理や音楽と共に楽しむイベントです。5年ぶりに復活し、期間限定販売している「ヴァイツェン」を始め、四種の飲み比べセットも好評でした。最終日は菅野町長も応援に行き、月山ビールや西川町をPRしました。



▲菅野町長もPR

民生児童委員変更のお知らせ

この度、民生児童委員の1人が退任したため、令和5年7月26日付で新たに前田祥さんが委嘱されました。担当は大井沢第1、中上、菅野の3つの町内会です。

民生児童委員は厚生労働大臣の委嘱を受けた非常勤の地方公務員で、住民の立場になって相談に応じ、必要な援助を行い、行政と連携しながら社会福祉の増進のための活動を行っています。困った時は1人で悩まず、最寄りの民生児童委員にご相談ください。



▲前田祥さん

令和4年度 西川町決算報告

9月の町議会定例会で西川町の令和4年度決算が認定されました。今号では、町民の皆さんから納めていただいた町税や国・県からの補助金、地方交付税などどのように使われたのか、内容と町の財政状況についてご紹介します。



令和4年度一般会計決算における実質収支※1は、3億9722万円の黒字となりました。前年と比較し、子育て世帯や住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業や令和2年7月の豪雨等に伴う災害復旧事業などの事業費が減少したものの、ふるさと納税や水沢温泉館大規模改修事業、さらには町営住宅整備事業の増加により、歳入は5.0%、歳出は4.4%それぞれ増加しました。

歳入は5.0%増加
歳入は前年度に比べ3億916万円（前年度比+5.0%）の増となりました。

その中で増減の主なものをご紹介します。まず、町税のうち、個人町民税が事業所得の増加などにより340万円（+2.1%）の増、固定資産税が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者への減免措置が終了したことなどにより1145万円（+2.4%）の増となり、町税総額では1756万円（+2.5%）の増となりました。

地方交付税のうち普通交付税は、都市公園の増加により6031万円（+2.4%）の増、特別交付税は地域おこし協力隊や地域活性化起業者の増加により8093万円（+27.0%）の増となり、地方交付税総額では1億4124万円（+5.1%）の増となりました。

国庫支出金は、豪雨災害に係る公共土木施設災害復旧費国庫負担金などが減少したものの、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金やデジタル田園都市国家構想交付金などの増加により7827万円（+9.8%）の増となりました。

県支出金は、豪雨災害に係る農林業施設災害復旧費負担金などの減少により1億593万円（▲26.9%）の減となりました。

寄附金は、ふるさとづくり寄附金などの増加により3760万円（+19.9%）の増となりました。

町債は、町営住宅整備事業などの増加により8990万円（+23.0%）の増となりました。

歳出は4.4%増加
歳出は、前年度に比べ2億5022万円（前年度比+4.4%）の増となりました。

主な増減の要因として、災害復旧事業費が1億4798万円（▲33.2%）の減となりましたが、新行政情報システムに係る経費の増加などにより物件費が1億2981万円（+17.9%）、物価高騰対策事業や消防費及びクリーンセンターへの負担金の増加により補助費等が1億2645万円（+12.8%）の増となりました。

その他、投資的経費は、町営住宅整備事業や水沢温泉館大規模改修事業の増加などにより、4億3073万円（+102.5%）の増となりました。

町民1人あたりにすると…

町税負担
153,066円
対前年比 +7,674円 (+5.3%)

歳出
1,268,232円
対前年比 +85,130円 (+7.2%)



基金区分	基金残高
財政調整基金	12億7,866万円
減債基金	9億2,051万円
地域福祉基金	4,186万円
町有施設整備基金	5億785万円
丸山薫記念基金	127万円
ふるさとづくり基金	3億230万円
賃貸集合住宅維持管理基金	2,794万円
小水力発電維持管理基金	671万円
森林環境譲与税基金	1,267万円
新型コロナウイルス感染症対策基金	2,849万円
企業版ふるさと納税寄附金基金	1,870万円
公務災害補償等基金	201万円
土地開発基金	1億2,841万円
育英奨学基金	7,132万円
国民健康保険給付基金	1億8,959万円
介護給付費準備基金	6,661万円
合計	36億490万円

町が所有している財産	数値
土地（面積）	46,784,942㎡
建物（総面積）	65,855㎡
自動車（台数）	77台
有価証券等	9,892万円

財政力指数
財政力を示すもので、1に近い、もしくは1を越えるほど、財政に余裕があるといえます。

経常収支比率
財政構造の弾力性を示す数値で、この値が100%に近いほど、自由に使えるお金が少ないこととなります。

区分	税額	構成率	1人あたり
町民税	1億8,273万円	25.3%	38,616円
固定資産税	4億8,780万円	67.3%	103,085円
（うちダム関係以外）	（3億7,978万円）	（52.4%）	（80,258円）
軽自動車税	2,036万円	2.8%	4,303円
町たばこ税	2,627万円	3.6%	5,552円
入湯税	715万円	1.0%	1,511円
総額	7億2,431万円	100.0%	153,066円

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
発行額	3億3,013万円	3億9,110万円	4億8,100万円
元金償還等額	7億4,263万円	7億3,600万円	7億4,944万円
うち繰上償還額	—	480万円	—
町債現在高	59億4,544万円	56億54万円	53億3,210万円

会計区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般会計	59億4,544万円	56億54万円	53億3,210万円
公共下水道事業会計	7億5,441万円	6億9,449万円	6億4,237万円
農業集落排水事業会計	1億1,115万円	9,610万円	8,094万円
病院事業会計	6,865万円	5,357万円	4,161万円
水道事業会計	6億8,922万円	6億8,383万円	6億8,009万円
合計	75億6,887万円	71億2,853万円	67億7,711万円

※令和4年度末の起債残高中、普通交付税の算入見込額は39億9,543万円（見込割合59.0%）です。

区分	収入	支出
国民健康保険事業	6億2,336万円	5億8,095万円
大井沢歯科診療所	207万円	206万円
公共下水道事業	1億8,675万円	1億8,333万円
農業集落排水事業	2,918万円	2,893万円
寒河江ダム周辺施設管理事業	474万円	343万円
後期高齢者医療事業	9,126万円	9,089万円
介護保険事業	7億3,450万円	7億2,206万円
宅地造成事業	6万円	—

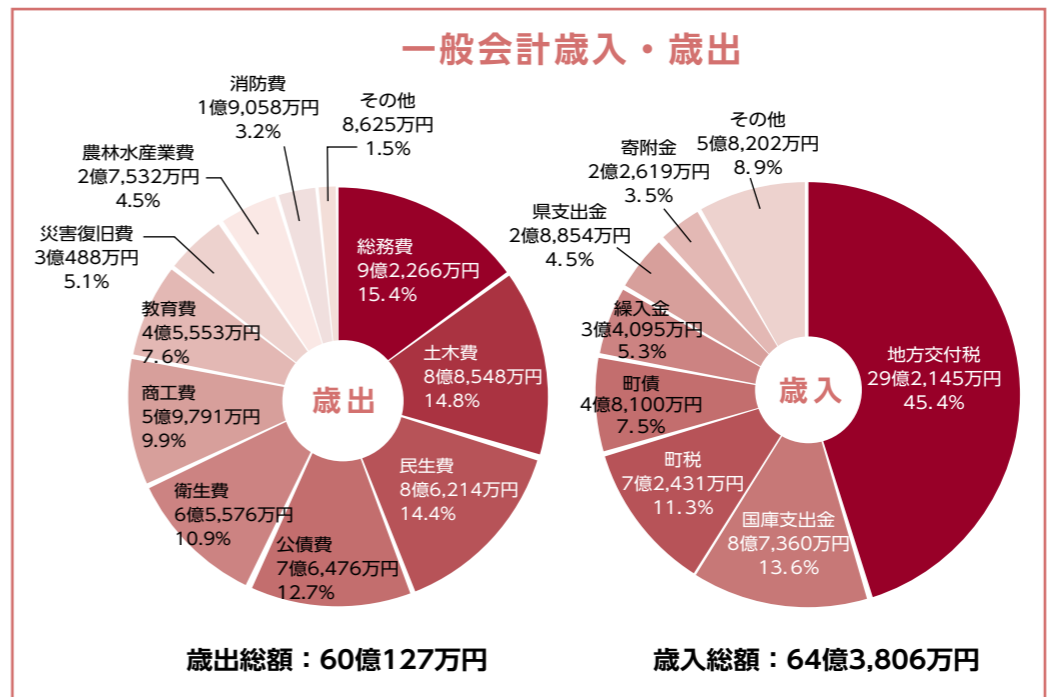
区分	収入	支出	
病院事業	収益的	7億4,044万円	7億2,167万円
	資本的	2,650万円	6,803万円

※一般会計からの繰入金は収益的収入では2億7,312万円、資本的収入では2,100万円となり、合計2億9,412万円となりました。

区分	収入	支出	
水道事業	収益的	2億1,213万円	2億595万円
	資本的	8,001万円	1億2,344万円

※一般会計からの繰入金は収益的収入では3,843万円、資本的収入では2,648万円となり、合計6,491万円となりました。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
財政力指数	0.241	0.230	0.221
経常収支比率	93.5%	88.5%	89.7%



※1…一般会計決算における歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額
※2…町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入の合計

社会保障の安定財源の確保を図る税制の抜本的な改革を行うため、平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が5%から8%へ、令和元年10月1日から、8%から10%へ引き上げられました。この引き上げ分に係る地方消費税交付金については、全て「社会保障施策に要する経費（事務費や事務職員の人件費は除く）に充てることとされています。本町の令和4年度一般会計決算における上記経費の充当状況は、次のとおりです。

【歳入】	市町村交付金（社会保障財源化分）	70,110千円
【歳出】	社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費	728,044千円

社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費

(単位：千円)

事業名	財源内訳					
	特定財源					
	経費	国(県)支出金	町債	その他	一般財源	
社会福祉	障害者自立支援事業	129,521	100,150			29,371
	障害児支援事業	5,517	4,412			1,105
	老人保護措置費	8,532			1,992	6,540
	後期高齢者医療に関する経費	77,686				77,686
	子育て支援医療給付事業	14,803	3,139	9,900		1,764
	ひとり親家庭等医療給付事業	1,440	721			719
小計	237,499	108,422	9,900	1,992	117,185	
社会保険	介護保険事業（特別会計繰出金）	99,589	4,833			94,756
	後期高齢者医療事業（特別会計繰出金）	26,646	15,497			11,149
	国民健康保険事業（特別会計繰出金）	58,858	15,712			43,146
	小計	185,093	36,042			149,051
衛生保険	後期高齢者健診事業	5,117			3,501	1,616
	病院事業（病院事業会計繰出金）	294,120				294,120
	大井沢歯科診療所事業（特別会計繰出金）	440				440
	救急医療対策事業	3,444				3,444
	妊婦健康指導事業	1,053				1,053
	町民健康づくり推進事業	1,278			8	1,270
小計	305,452			3,509	301,943	
合計	728,044	144,464	9,900	5,501	568,179	

一般財源のうち、引き上げ分の地方消費税交付金	70,110
引き上げ分の地方消費税交付金を除く一般財源	498,069

引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について

健全化判断比率

	西川町算定結果	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率 普通会計の実質赤字（歳入を歳出が上回った額）が標準財政規模に占める割合	－％（－％） （赤字額なし）	15.00%	20.00%
②連結実質赤字比率 すべての会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	－％（－％） （赤字額なし）	20.00%	30.00%
③実質公債費比率 公債費及び公債費に準じた経費が標準財政規模に占める割合	12.0％（11.5％）	25.0%	35.00%
④将来負担比率 地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債が標準財政規模に占める割合	－％（－％）	350.0%	

標準財政規模とは・・・地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを示す指標
 ※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため、将来負担比率は将来負担すべき実質的な負債がないため、「－％」と表示しています。
 ※（ ）内の数字は昨年度のものです。

資金不足率

公営企業における資金不足比率 公営企業ごとの資金不足額が事業規模に占める割合	－％（－％） （資金不足なし）	経営健全化基準 20.0%	
---	--------------------	------------------	--

※資金不足額がないため、「－％」と表示しています。※（ ）内の数字は昨年度のものです。

町の財政健全化判断比率及び資金不足比率について
 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和4年度決算に基づき健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率を公表します。

令和4年度入湯税	予算額	収入済額
	6,521	7,149

(単位：千円)

事業名	経費	財源内訳				
		特定財源			一般財源	うち入湯税
		国(県)支出金	町債	その他		
観光情報広告宣伝事業補助金	2,500	1,127			1,373	550
観光推進機能強化事業補助金	14,406		10,500		3,906	1,600
観光情報・誘客推進事業補助金	1,101				1,101	450
観光施設管理整備事業	11,008	319			10,689	4,549
合計	29,015	1,446	10,500		17,069	7,149

(単位：千円)

入湯税の用途について
 本町の令和4年度一般会計決算における入湯税の充状況は次のとおりです。

電源立地地域対策交付金事業について
 電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置や運転の円滑化を図るため、電源地域の市町村が行う公共用施設の整備や地域住民の福祉の向上を図るための地域活性化事業に対して、国から県を通じて交付されています。
 本町では、令和4年度交付額1861万円を住民の福祉の向上に資する事業として「にしかわ保育園」の運営費2374万6千円の二部に充当し、子育て支援のために有効に活用しています。

入湯税の用途について

入湯税は、地方税法第701条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興（観光施設の整備を含む）に要する費用に充てるため、課税するものです。
 本町では地方税法に基づく西川町町税条例の規定により、鉱泉浴場における入湯に対し、一人一日150円（宿泊を伴わない場合は75円）を課税しており、令和4年度決算における収入済額は、715万円となっています。
 一方、入湯税を充当すべき事業は地方税法で定められており、本町では充当対象事業として、観光振興事業（2902万円）に対し充当しています。

本町の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率
 健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率は、町の財政の健康状態を示す数値です。
 令和4年度決算に基づく健全化判断比率のうち実質赤字比率、連結実質赤字比率は、ともに赤字額がないため比率なしとなりました。
 また、実質公債費比率、将来負担比率ともに早期健全化基準を下回っています。なお、公営企業会計においても、資金不足がないため比率なしとなりました。
 表中③の実質公債費比率は、普通交付税が増加した一方、借金の返済額にあたる元利償還金が増加したことに伴い昨年度より0.5ポイント増加し12.0%となっています。
 また、表中④の将来負担比率は、借金等の将来負担額よりも普通交付税算入見込み額や基金残高等が上回るなどしたため、今年度も比率なしとなっています。
 本町は全ての比率において基準を下回っており、健全な財政状況にあります。今後も引き続き行財政改革に取り組み、健全な財政運営に努めていきます。

地域おこし協力隊通信



松林貴大さん
令和5年8月1日～

西川町の皆さん、こんにちは!8月より西川町の地域おこし協力隊をしています、松林貴大(まつばやしたかひろ)です。出身は佐賀県です。
西川町には冬の地域おこし協力隊インターンで来ました。雪の量には驚きましたが、本当に楽しく活動できたこと、町の勢い、町民の方の温かさに惹かれてこの町で何かしたいと思いました。
西川町では、ゲストハウスの開業を目指して活動していきます。西川ファンの方々と交流できる場所や町民の方の憩いの場、イベントスペースにもしていきたいと考えています。
これからイベントにもたくさん参加していきたいと思っていますので、声をかけてもらえると嬉しいです!よろしくお願いします!



潘傳濤 さん
令和5年8月14日～

西川町の皆さん、こんにちは!台湾生まれ台湾育ちの潘傳濤(パン チュアンタオ)と申します。今年、来日6年目になります。これまで仕事の関係で、大阪府、香川県、愛知県を転々として、現在西川町の月山朝日観光協会に所属し、インバウンド集客に力を入れて取り組んでおります。
趣味は旅行することで、なんと今月で47都道府県制覇!最後は岩手県でした。写真を撮ることも好きで、これから西川町をもっと元気にして、多くの人に西川町の魅力を知ってもらいたいです。日本だけでなく、世界へ向けて SNS に発信していきたいです。もし、同じ趣味の方がいらっしゃいましたら、ぜひ気軽にお声がけください。まだまだ未熟者ですが今後ともよろしくお願いいたします。

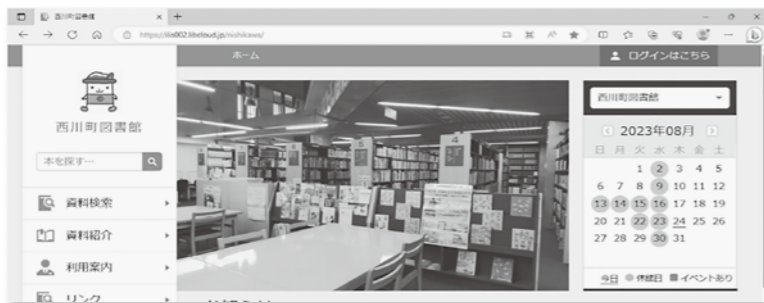
新たに2名の協力隊が着任しました

図書館さ、いぐべ～。

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎85-0077

図書館ホームページのアドレスが変わりました!

<https://ilis002.libcloud.jp/nishikawa/>



西川町のHPからもご覧になれます。
トップページ下のリンクをご覧ください。

※利用者のページより本の予約も可能です。予約の連絡はメールが便利です。
カウンターで対応いたしますのでお声がけください。

10月のおはなし会

日時：10月21日(土) 10時30分から

- ★くったのんだわらった
 - ★いっぽんばしにほんばし
 - ★どうぶついろいろかくれんぼ
 - ★じゅもんはとんとんまるまる などなど・・・
- ★工作もあります

Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

※敬称略

西川JVCが大活躍!

8月20日、山形県少年少女スポーツ交流大会西村山地区大会兼西村山地区交流大会が開かれ、西川JVCが混合の部優勝をはじめ、素晴らしい成績を残しました。
また、10月1日に行われた山形県少年少女交流大会では、Aブロック準優勝という快挙を成し遂げました。



▲西川JVCの皆さん

長年の功労を称えて 令和5年度西川町功労者表彰式

令和5年度西川町功労者表彰式が10月2日、役場で行われました。表彰式では3期12年にわたり町議会議員を務められました伊藤哲治さん(吉川)、佐藤幸吉さん(間沢)、長年にわたり農業委員として業務に尽力されました高橋春一さん(吉川)、工藤正章さん(吉川)の4名に菅野町長から表彰状と記念品が手渡されました。



▲功労者表彰式の様子

100歳のお誕生日、おめでとうございます!



この度、本町でめでたくお二人の方が100歳のお誕生日を迎えられ、菅野町長よりお祝いの賀詞が手渡されました。

片倉 政雄さん (大正12年9月5日生)

片倉政雄さんは綱取で10人兄弟の3番目として生まれ、結婚後、岩根沢で農業を営み、また、長年民生児童委員として活動をしていました。
政雄さんに長生きの秘訣を尋ねると、「食事に気をつけている」とのこと。「腹八分、病気知らず」と教えてくださり、暴飲暴食をせず、美味しいものでも腹八分で止めることが大切だそうです。政雄さんのますますのご健康とご長寿をお祈りいたします。おめでとうございます。



佐藤 かつ彥さん (大正12年9月19日生)

佐藤かつ彥さんは6人兄弟の5番目として間沢で生まれ育ちました。東京に働きに出て、山形に戻られてから40年ほどになるそうです。
かつ彥さんはスポーツ観戦が好きで、特に野球をよく観るとのこと。また、毎日、体操や寝る前に足踏み100歩などをして体を動かしているそうです。かつ彥さんは「自分のことはなるべく自分でできるようにしたいの」と話されていました。かつ彥さんのますますのご健康とご長寿をお祈りいたします。おめでとうございます。



ねいねいひろば

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



9月8日に年長さんが天童のげんキッズとわくわくランドに出かけ、思いっきり遊びました。高い所からのすべり台にもどんだん挑戦し、笑い声いっぱいでした。

9月15日は年中さん、22日は年少さんが河北町の児童動物園に行き、動物さんと会ってきました。「こっち見てるよ」「仲良く並んでるね」「真っ赤な顔、怒ってる？」と子ども達のつばやきが飛び交いました。



保育園コーナー

「笑顔いっぱい、わくわく、どきどきバスに乗って園外保育」

9月20日、山形馬事センターから、馬の「らんまるくん」とポニーの「チップちゃん」が、専用の大きなバスに乗ってやってきました。年少さんはポニーに、年中さんは馬に、そして年長さんは両方に！とても貴重な体験となりました。関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

「保育園にお馬さんが遊びにきたよ」



ぽっかぽかコーナー

ハッピータイム

ジョー先生のハッピータイムは、小さな赤ちゃんにも大人気です！



第2回ゆきんこ

ゆきんこさんが、わらべうたでお部屋も心もぽっかぽかにしてくださいました。



伊藤貢先生の 元気アップ！ 運動教室 PART304



今月のテーマ：

ストレッチングの豆知識

ヒトや犬・猫など動物が無意識に行う「背伸び」はストレッチングの一種と言われています。

ストレッチングは、1970年頃から普及し始め、研究も進んでいます。しかし、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防に効果があるかについてのエビデンスは、まだ不十分と言われています。その為、効果が無いという意味では無く、「エビデンス不足」ということで生活習慣予防のエクササイズとしては推奨されていません。

筋・神経系・生化学的な分野など複雑に関係する運動（エクササイズ）だからこそ、現時点で推奨されている正しい方法で行うことが大事です（正しい方法は前回の令和5年9月号をご参照ください）。

西川町では、毎週水曜日の14時から西川町民体育館で、「楽楽運動教室（奇数週）」「ゆる楽運動教室（偶数週）」を定期的に開催しています。安全で効果的なエクササイズを集団教室形式で楽しくすすめています。ぜひ、健康づくりの機会として教室をご活用ください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

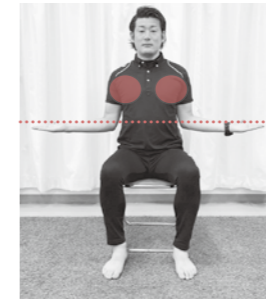
参考・引用資料

●厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネットストレッチングの効果
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/exercise/s-04-006.html>
 ●ストレッチング 560420 発行 成美堂出版 著者 井街 悠

椅子に座って簡単ストレッチング！
 胸の筋肉を伸ばしましょう。
 (30秒×2セット：呼吸にあわせながら力まずに行う)



①手の平を天井に向け、脇を締める



②脇を締めたまま、両手を横に開く(床と腕は平行になるように)
 ③背中(肩甲骨)を背骨に向かって寄せるように意識する

●注意点

- ①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
- ②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。

西川町保健センター

まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



ご存知ですか、『がん相談支援センター』のこと

我が国で、がんは男性、女性ともに一生のうちにおおよそ2人に1人が罹患する身近な病気です。がんになっても安心して生活していくために病気や仕事などさまざまな不安について相談することができる「がん相談支援センター」が県内にも設置されています。

治療費が心配。抗がん剤は高いですか？支援はありますか？

がんになったら仕事は？学校は？仕事を続けながら治療はできるの？

不安でたまらない。今の気持ちを話したい。

同じ体験者の声が聴きたいです。体験者と話したい！

職場の上司、同僚にはどう伝える？

主治医から治療内容を聞いたが、もう一度教えて欲しい

セカンドオピニオンを受けたいが……



山形県内で村山地域にあるがん相談支援センター

山形県立中央病院がん相談支援センター	023-685-2757	月～金 8:30～17:15
山形大学医学部附属病院がん患者相談室	023-628-5159	月～金 9:00～16:00
山形市立病院済生館がん相談支援センター	023-634-7161	月～金 8:30～17:00
山形県がん総合相談支援センター (やまがた健康維持機構山形検診センター)	0800-800-8230	月～金 10:00～16:00 *4～12月の第1土曜 10:00～12:00

がん相談支援センターでは、がんの患者さんやご家族・友人など、どなたでも無料で相談することができます。

がん相談員（看護師等）が不安や悩みをお聞きします。お気軽に相談してみませんか？

***がんサロン**…「患者さんおよび家族が気軽に集えて語れる場」も開催されています。相談支援センター等へお問い合わせください。
 【健康福祉課 健康推進係】

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課町民つなぐ係

0237-74-2112 tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

救急医療への理解を深めるために 1日救急隊長任命

9月5日に、一般社団法人月山朝日観光協会の阿部さくらさんとイメージキャラクターのガッツさんが、西村山広域行政事務組合の消防署西川分署で1日救急隊長を務めました。1日救急隊長の任命は4年ぶりです。救急医療や救急業務について理解を深める「救急の日(9月9日)」の啓発活動を行いました。

1日救急隊長を務めた阿部さんは、「ガッツさんと一緒に1日救急隊長を務めて、小さなことでも困った人や助けを求めている人がいたら手を差し伸べることを当たり前にできるようになりたいと感じました」と話しました。



▲にしかわ保育園での啓発活動

爽やかな汗を流し、交流を深める 「かけっこ祭りin西川」開催

交流センターあいべから本道寺集会所を往復する「かけっこ祭りin西川」が9月9日に開催されました。これは、スポーツを通じて交流を深めることを目的に「Heart's 21」が企画。コースはフルコース、ハーフコース(入間公民館スタート)、エリートコースの3つに分かれ、約20人の参加者がそれぞれのレベルに合わせたコースで走りました。折り返しの本道寺では口之宮湯殿山神社を参拝し、お釈迦様の足型を刻んだ「仏足石」に足腰が健全に過ごせるようにと祈りました。



▲本道寺で参加者・関係者と集合写真

東北のアウトドアサウナが勢揃い! 第4回トウホグ蒸祭にサウナ月山参加

第4回トウホグ蒸祭が9月9日、蔵王坊平にて開催されました。この祭りは、東北6県の特産ある自然と文化を活かしたアウトドアサウナイベントとして2021年より開催されています。本町からは、月山朝日観光協会のテントサウナ2基が参加。サウナーである菅野町長が県内外の参加者を前に「サウナで」とのう町 西川」をアピールし、西川町への誘客PRを行いました。



▲テントサウナ

世代を超えてプレーボール! 西川小グラウンドにゲートボールコート完成

西川小グラウンドで9月26日、ゲートボールコートのこけら落としが行われました。町ゲートボール協会(会長・渋谷雄三郎さん)小山)の働きかけにより、県協会からスティックやボールなど用具一式の寄贈を受けたことをきっかけに、地域の方々と小学生がゲートボールを通じて交流を広げるために設置したもので、当日はスポーツクラブ授業に出席した児童たちが協会員のアドバイスを受けながら、初めてのゲートボールに挑戦しました。今後は、本コートで協会員の練習を日常的に行い、小学生との交流も盛んになっていく予定です。



▲ゲートボールを楽しむ児童たち

学生が本気で考える! 産学官連携、フィールドワーク型ワークショップ

9月28、29日に早稲田大学社会学部と日本航空株式会社(JAL)、町の共催によるフィールドワーク型のワークショップが開催されました。これは早稲田大学の学生にワークショップを通して、地方創生、観光DX、過疎化などをテーマに、産・学・官の視点で「西川町で何を興したいか」をゼロベースで考え、企画案を本気で実現するつもりで提案いただきます。

ワークショップは全3回を予定しており、第1回目の今回は西川町を知ってもらうために、町内企業訪問や月山、カヌー体験などを通して、町の課題に対する理解を深めながら、自分たちが実現したいことを形にしていきました。



▲ワークショップの様子

秋の味覚を楽しむ かわどい亭でかぼちゃプリン販売

10月より、期間限定メニューのかぼちゃプリンがかわどい亭で開始されました。プリンには、本坊ファームと吉川地区で収穫されたかぼちゃを使用。本坊ファームのかぼちゃがなくなり次第吉川のかぼちゃに切り替わります。本坊ファームのかぼちゃを使用するのは今年で3年目です。地元・吉川地区のかぼちゃよりも早い収穫のため、提供開始のプリンは本坊ファームのかぼちゃを使用しているそうです。



▲濃厚かぼちゃプリン

かわどい亭のかぼちゃプリンは11月まで、かわどい亭がなくなり次第終了予定です。

結婚50年の節目を祝う おしどり金婚さん顕彰

9月21日に交流センターあいべで西川町老人クラブ連合会(阿部富雄会長)が主催する「おしどり金婚さん顕彰式」が開催されました。昭和48年に結婚した28組のうち24組のご夫婦が出席し、結婚50年の節目を祝いました。この度、金婚式を迎えられたご夫婦には山形新聞・山形放送から記念レリーフ(楯)とともに結婚記念日当日の山形新聞一面の写しが手渡されました。

出席者を代表して山下一男さん・ツヤ子さんご夫妻が「これからも健康に留意し、心豊かな楽しい余生を送りながら、少しでも社会に恩返しをしたい」と謝辞を述べられました。金婚式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。



▲出席者にご来賓の皆さん

新規採用職員の紹介



鈴木 悠史(寒河江) かせく課

10月から大好きな西川町で働くことになり、嬉しくもあり身が引き締まる思いです。西川町の更なる発展の一助となれるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

GASSAN BEER

10月29日(日)10:00~
道の駅にしかわにて
道の駅にしかわ秋祭り

11月4日(土)10:00~
道の駅にしかわにて
西川の三酒まつり

二大秋祭り開催

西川町総合開発(株)

■お詫びと訂正:本誌の先月号(2023年9月号)の22頁「TOPICS」に掲載した内容で、『善意の氷を届けるプロジェクト』のご協力いただいた事業所の中に黒坂商店さんの記載が漏れていました。訂正のうえ、お詫び申し上げます。



詳しくはこちらからご確認ください!→→→
 たくさんのご応募、お待ちしております!!



今月の表紙

10月7日、にしかわ保育園の運動会「にこりんピック」が開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、園児たちは雨にも負けず、元気に競技を行い、成長した姿を保護者の方に見せていました。



編集雑記

秋も深まり、月山も色付いてきましたね。景色も良いですが、自身の秋といえは「食欲の秋」です。秋は美味しいものが多いので嬉しい反面、食べ過ぎに注意をしなければ・・・とはいえ、皆さんも西川の秋の味覚を一緒に楽しみましょう
 (伊藤)



LINE @nishikawa_town

X @nishikawatown

Instagram

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<http://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



10/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,276人 女 2,413人 計 4,689人 世帯数 1,810 ()は前月比 (-1) (-6) (-7) (-2)